令和7年度



保健事業の実施報告

皆さんの健康ライフのサポートとして、
令和7年度もさまざまな保健事業を実施しました。
その中から主な事業をご報告します。

特定健康診査・特定保健指導



40歳以上75歳未満の全員を対象に、被保険者については事業主との共同事業として7,713名、被扶養者については家族健診等で2,138名の人に特定健康診査を実施しました。その結果から、生活習慣病のリスクがある1,151名を対象に特定保健指導を実施しました。事業費は特定健康診査が1,737万円、特定保健指導が3,750万円でした。

疾病予防

予防接種

インフルエンザ予防としてワクチン接種が有効であることから、予防接種の一部費用補助を実施。5,990名の人が申請し、1,058万円の補助を行いました。

歯科健診

虫歯・歯周病の早期発見、早期治療を目的として被保険者を対象に口腔内スキャンによるスマート健診又は標準歯科健診で実施。3,133名の人が受診し、2,147万円の費用補助を行いました。

生活習慣病健診

すべての被保険者を対象に、事業所で実施する定期健康診断とあわせて実施。1万2,188名の人が受診し、9,706万円の費用補助を行いました。

家族の生活習慣病健診

被扶養者（任意継続被保険者を含む）の特定健診にあわせて実施。2,154名の人が受診し、4,674万円の費用補助を行いました。

かぜシャットアウト作戦

すべての被保険者を対象に、携帯手指消毒剤を配付したことに加え、各職場に風邪予防薬を備え付けました。事業費は359万円でした。

レディース検診

女性の被保険者で希望者を対象に、乳がん検診、子宮頸がん検診を実施。902名の人が受診し、1,061万円の費用補助を行いました。

家庭用救急常備薬の補助付斡旋

家庭用の救急常備薬を斡旋し、購入代金の一部費用補助を実施。2,323名の人が購入し、249万円の補助を行いました。

大腸がん検査（郵送）

大腸がんの早期発見・早期治療を目的として郵送型大腸がん検査を被保険者・被扶養者を対象に実施。288名の人が受診し、81万円の補助を行いました。



保健指導宣伝

健康白書の作成・提供

健診や医療費データを分析し、事業所毎の健康課題を明確化した統計資料を作成のうえ、健康経営に活用出来るツールとして提供しました。事業費は385万円でした。

糖尿病性腎症重症化予防指導

糖尿病の進行による慢性腎不全や人工透析への移行を未然に防止する為、リスクの高い方32名に対し、適切な受診勧奨や保健指導を実施し、事業費は237万円でした。

けんぽニュース「すこやかマテリアル」の発行

当健保組合からのお知らせや役立つ健康情報を掲載した機関誌を、WEB版にて年2回（夏・秋）発行しました。事業費は272万円でした。

服薬適正化事業

服薬者のうち重複投与、多剤処方者、併用服薬や服薬による副作用の懸念がある方90名へ服薬改善指導を実施し、事業費は157万円でした。

禁煙サポート事業

禁煙啓発ポスターの作成、事業所喫煙率の公表のほか、ICTを活用したオンライン禁煙外来に18名が参加、ニコチンガムによる禁煙ライトプランを新設し、59名が参加し、事業費は205万円でした。

kencomの運営



ICTを活用した健康増進支援サービス「kencom」を運営し、日々の歩数管理や体重管理、健康情報やコンテンツの提供、皆さんの健康への取り組みに応じて「マテリアル健康ポイント」の付与を行っています。登録者数は7,835名で前年度より64名増、事業費は663万円でした。

電話健康相談「こころとからだの健康相談」



病気、体の不調、育児・介護の問題などについては健康電話相談、メンタルヘルスについてはこころの電話相談の他、カウンセリングなども受けられる相談事業を実施。令和7年度の利用件数は、健康相談260件、こころの相談310件で、事業費は157万円でした。

その他

その他、当健保組合独自の保健指導や受診勧奨、事業所への健康教育及び健康冊子の配布、ホームページの運営費用等で1,351万円の事業費が発生しました。

体育奨励

各種体育行事の実施

ボウリング、ハイキング、ウォーキングイベント、スポーツクラブ利用補助など、さまざまな体育行事を事業主と共催で実施。5,955名の人が参加し、373万円の費用補助を行いました。

契約保養所



契約保養所の利用

ラフォーレ倶楽部などの契約保養施設の利用者に対し、利用料の一部補助を実施。828名の人が申請し、164万円の費用補助を行いました。